



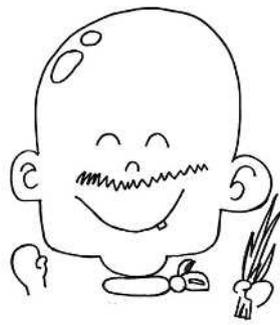
# 農大同窓会報

ごあいさつ

同窓会長 柴田 隆夫

発行所  
愛知県立農業大学校同窓会  
岡崎市美合町字並松1-2  
電話 (0564) 51-1601

編集発行人  
同窓会 会長 柴田 隆夫  
印刷所 広済堂ネクスト  
電話 (06) 7178-0530



県農大創立90周年に寄せて

1934年に愛知県の種畜場を、愛知県追進農場と改称し、農業の実践教育学校が始まり、本年度90周年を迎える事となりました。誠にめでとうございます。

私が卒業したのが46年前ですので、ちょうど折り返しの時代であった事になります。

当時の卒業生は、ほぼ100%の方が自営農業が進路であったのですが、現在は、2割前後の自営率で、女子学生も3割にのびります。隔世の感がありますが、約一世紀に近い歴史がある農業大学の果たしてきた役割について、乏しい私の経験か

ら少し考えてみたいと思います。

今や全国でも珍しくなった、全寮制での農業実践教育という点。今までこれが当たり前と思

い暮らして来た自家を離れ、寮での集団生活での2年間。思春期後半の多感な時期に大きな影響を受けました。同世代のエネルギーシユな、若者同士の切磋琢磨は、非常に刺激の多い貴重な体験となりました。現実の世

の中を客観的、批判的に観る眼が養われ、現状を実践的に変えて行く素養と下地を築くことが出来たのかなと思います。

先進農家への派遣実習は、自分自身の目標に具体的なイメージを持てるようになりました。

こういう刺激を受けて、卒業生が各地の産地をリードするリーダーとして成長しています。

最近のリーダー像を語る上で実践力というキーワードが注目されています。偏差値中心の学

生時代に優秀とされた人材が、実社会に出てみると堅実ではあるが、思いの外小粒にまとまってしまうという傾向がある様で、経営の舵取りには、冷静な分析も必要ですがチャレンジするという実践力の強さが、新しい世界を広げて行く力になっている様です。

私も30、40代の一番エネルギーシユな時期には、新しい事に挑み続けていた事を思い出しました。

これも農大の大きな強みであったと思います。

そして同じ農業界における一生ものの友人達との出会い。地域に帰ってみると大勢の先輩と毎年増えて来る後輩達の目に見えないコミュニティがあり、初めて会った方とも、同門の共感からすぐに打ち解け、話し合えたと思います。

愛知県中から集まって来た同級生からは、地域が違えば全く異なる農業・農家の現状を聞き、その多面性や可能性について学びのある2年間でした。

そんな私も後継者に恵まれ、16年前に県農大を卒業し、鉄道会社の整備士を経て我が家へ就農、息子が33才の時に経営を渡し3年目の現在となっております。

私と父とはウマが合わず、良くぶつかり合い、感情的な対立になる事が多かったのですが、私と息子との関係はそれに比べると、はるかに友好的関係となっております。それも共に農大出身という共通体験があるという事が大きい様です。



ごあいさつ

同窓会員の皆様

校長 恒川 靖弘

この4月から校長を務めることになりました恒川と申します。

同窓会員の皆様方には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から、柴田隆夫会長を始め、同窓会の役員、会員の皆様方には、本校の円滑な運営に格別の御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本校は、昭和9年に追進農場として創設されて以来、今年で90年を迎えます。この歴史と伝統をしっかりと受け継ぎ、教育研修業務の運営にあたってまいりたいと考えておりますので、同窓会員の皆様方におかれまし

90年という歴史は、卒業生の中には、親子三代、もしかすると四代に渡って農大出身という農家もあるかもしれませんね。県農大には、教育部だけにとどまらず企画研修部もあり、新規就農者や就農中の若手農業者向けの本格的なカリキュラムもあり、愛知の、日本の農業発展の基地として農大の役割に大いに期待したいと思えます。

では、歴代校長と同様、御指導、御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

卒業生の進路

令和5年度の卒業式を3月8日(金)に執り行い、農学科の学生68名が新たな進路に進みました。

卒業した学生は、入学当初は新型コロナウイルス感染症対策により、いろいろな制限がありました。令和5年5月に5類感染症に移行してからは、様々な行事が制限のない形で行えるようになり、充実した学校生活を送ることができたのではないかと考えております。

卒業生の進路は、68名中21名が就農(自営就農、農業法人等への雇用就農)し、JA等への就職が44名(うち就農前提の一時就職6名)、研修が2名、他県の農業大学校への進学が1名でした。

本県農業の担い手として、また、農業を支える人材として、卒業生の今後の活躍を大いに期待しています。同窓生の皆様には、卒業生への温かい御指導と御支援をお願いいたします。

### 近況報告

令和6年度は、新たに79名の1年生を迎え入れ、4月10日(水)に入学式を挙行いたしました。新入生にとっては、緊張の中にも晴れやかで思い出に残る一日になったのではないかと思います。

新入生が加わり、新2年生と合わせて、本年度の在校生は170名でのスタートとなりました。学習面、生活面ともに様々なことにチャレンジできるような、学生にとって有意義で充実した1年になることを期待しています。

また、5月30日(木)、31日(金)の2日間、「東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会」が、滋賀県で開催されました。本校から66名の学生が参加し、団体の部では野球、バレーボー

ル、バドミントンの3種目で優勝、個人の部でもバドミントン女子ダブルスで優勝するなど、多くの種目で優秀な成績を収めることができました。この大会を通じて、本校学生の団結力が高まるとともに、他府県の学生との交流促進が図られたことは、とても有意義な経験になったのではないかと思います。

全国的に農業大学校の入学者が減少する中で、本校においてもここ数年、定員を下回る入学者数で推移しています。一人でも多くの意欲ある学生を確保するため、本校では、6月から8月にかけてオープンキャンパスを開催するなど、来年度の学生募集に向けた様々な取組を行ってまいります。

令和4年度の学生募集からは、特別推薦入試制度(農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験)を改正し、非農家出身であっても就農(雇用就農も含む)意欲が高く在学中に農業クラブやクラブ活動に精力的に取り組んだ者の推薦(特別推薦Ⅱ)を加えています。

また、インスタグラムやX(旧ツイッター)といったSNSを活用して、学生自らが日頃の実習や学校生活の様子を情報発信するなど、本校の魅力を積

### 学生募集

極的にPRしております。ぜひ一度ご覧いただき、皆様方のフォローをお願いいたします。こうした取組が、本校への入学希望者の増加につながることを期待しております。

最後に、世界的にみると、各地で起こっている紛争や、自然災害の発生、気候変動の影響などにより、食料生産が不安定な状況にあり、我が国においても食料安全保障の強化に向けて農業政策の見直しが進められるなど、改めて「食の大切さ」が問いか

けられています。こうした中で、本県農業を支える優秀な人材の養成を担う本校の使命は、益々重要なものと考えています。この使命を着実に遂行するため、創意工夫や改善を図りながら、教育内容の一層の充実と円滑な学校運営に努めてまいりますので、同窓会の皆様におかれましても一層の御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、同窓会会員の皆様のご更なる御活躍と御繁栄を心から祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。

## ◆◆令和六年度理事会だより◆◆

令和6年2月2日(金)午前10時30分から、令和6年度農業大学校理事会が本校中央教育棟会議室において開催されました。

◆◆令和六年度理事会だより◆◆

まず、同窓会員で全国果樹技術経営コンクール農林水産大臣賞を受賞された石田直人さん(昭和56年3月卒)、あいちアグリアワード担い手育成部門を受賞された(株)清水牧場の清水一将さん(平成13年3月卒)に記念品の贈呈を行いました。

その後、第1号議案から第6号議案の内容について配付した資料により審議していただき、すべての議案について異議なく承認されました。第6号議案では、令和6年11月16日(土)に創立90周年記念事業を開催することを決定しました。

各議案と主な内容は以下のとおりです。

○第3号議案 令和6年度事業計画  
 ・同窓会報第40号の発行  
 ・役員会・理事会の開催  
 ・卒業生記念品贈呈  
 ・同窓会員の表彰  
 ・農業大学校同窓会全国連盟総会等への参加  
 ・支部活動並びに技術部会活動への支援

○第1号議案 令和5年度事業報告

○第4号議案 令和6年度会計予算  
 ○第5号議案 理事の委嘱及び役員会の互選について  
 ○第6号議案 愛知県立農業大学校同窓会創立90周年事業について

○第2号議案 令和5年度会計決算報告

○第3号議案 令和6年度事業計画  
 ・同窓会報第40号の発行  
 ・役員会・理事会の開催  
 ・卒業生記念品贈呈  
 ・同窓会員の表彰  
 ・農業大学校同窓会全国連盟総会等への参加  
 ・支部活動並びに技術部会活動への支援

○第2号議案 令和5年度会計決算報告

○第4号議案 令和6年度会計予算  
 ○第5号議案 理事の委嘱及び役員会の互選について  
 ○第6号議案 愛知県立農業大学校同窓会創立90周年事業について

### 次期理事会

### 開催のお知らせ

同窓会規約により、令和7年度は次のとおり開催予定です。で、理事の皆様は出席をお願いいたします。

日時 令和7年2月7日(金)

午前10時30分から

場所 愛知県立農業大学校

中央教育棟会議室

東海近畿ブロック  
同窓会長会議報告

令和6年度の東海近畿ブロック農業大学校同窓会長会議が令和6年7月30日(火)に兵庫県立農業大学校で開催され、柴田会長が出席しました。

会議は、東海近畿ブロック農業大学校長会議と合同開催され、全体会議の後、丹波篠山たぶち農場 田渕真也氏による「雇用の視点から農大生に望むもの」と題した基調講演が行われました。

その後、同窓会長会議の分科会が開催され、同窓会の現状等について、活発な議論が交わされました。

なお、令和7年度は本県で開催される予定です。

同窓会名簿新規発行の廃止について

個人情報保護のため、同窓会名簿の新規発行を廃止します。会員様の情報の提供については、同窓会員ご本人であることや使用目的が適正であること等を確認した後、提供させていただきますので、名簿データを必要とされる方は、下記の方法で同窓会事務局に申請をしてください。

- ①名簿が必要な方は、同窓会事務局に御連絡ください。
- ②同窓会事務局から「同窓会名簿利用申請願」を送付します。(郵送又はメール)
- ③必要事項を記入の上、本人の確認ができる書類(免許証の写し等)を添付の上、郵送又はメールで申込み。
- ④本人同意が得られた後、データを提供します。

なお、平成26年11月に発行した同窓会名簿の購入を希望される方は、同窓会事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ先 同窓会事務局 ☎0564-51-1602

令和六年度  
役員名簿

会長	柴田 隆夫(専九)
副会長	富永 康典(専八)
	野田 留美(大研一〇)
	伊藤 真二(大農二九)
会計監事	山田 博嗣(大專一)
	鶴飼 里恵(大專一五)
	学校職員(管理課長)
事務局長	尾崎 芳弘(専四)
書記	高木 宏道(大研九)
	学校職員(学務科長)
会計	山田 守克(大專一〇)
	岡本 貴幸(大農二五)
顧問	恒川 靖弘(校長)
名誉顧問	歴代校長(元校長) 鈴木 吉地(前会長)

農学科の令和5年度卒業論文  
発表会を開催しました

農学科の卒業論文発表会を令和5年12月12日(火)に開催しました。

今回は大講義室に2年生、1年生を全員集めての開催となりました。

農学科では、2年生全員が1人1課題以上のプロジェクト活動に取り組んでいます。学生自らが農業を学ぶ中、また専攻実習に取り組む中で感じた疑問点や改善点を課題とし、様々な試験を行いながら得られたデータを科学的に検証し、卒業論文としてまとめます。卒業論文発表会はその成果を専攻毎に選抜された2年生9名(昨年度に引き続き養豚・養鶏専攻から2名)が10分間の発表を行うもので、自分の取り組んできたテーマを全学生の前で発表できる絶好の機会です。

発表会当日は、いずれの発表者も専攻の代表であるという自覚と責任を持って、素晴らしい発表を行いました。審査は、石橋校長始め4名の審査員が「発表内容」「発表方法及び態度」「質疑に対する応答」の各審査項目に基づいて実施し、最優秀賞1名と優秀賞2名を選出しました。

した。



質問する審査員

各賞の受賞者は以下のとおりです。

**最優秀賞：平松拓海**(作物専攻)「ICT技術を用いた水稻の最適な栽培方法の検討」

**優秀賞：鈴木月那**(露地野菜専攻)「亜リン酸の葉面散布の頻度がキャベツの生育に与える影響」

**優秀賞：平井みのり**(施設野菜専攻)「ICT温室における大玉トマト40tどりを目指した日射比例灌水の検討」

審査委員長である石橋校長は講評の中で、「技術の実効性や妥当性などの実証、結果の取りまとめ、考察も全般的に良くできていました。」と、本人や専攻の関係者を労いました。

最優秀賞の平松君は「東海近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会」に本校代表となりましたが、2年生の海外派遣研修と日程が重なるため、同じ作物専攻の後輩・稲垣椋介君が代理で発表しました。



最優秀賞の平松君



受賞者と発表者

# 農業大学の近況

(人数は入学時点)

## 1 概況

令和6年度の教育部農学科の学生数は1,2年生あわせて170名で、そのうち女子は53名で31%となっています。

専攻別学生数は表1に示したとおりで、果樹・野菜・酪農専攻の学生数が多い傾向にあります。また、露地野菜、酪農、養豚・養鶏専攻は女子学生の割合が高く、女子の人気の高さうかがえます。

一方、企画研修部では、Uターンや他分野からの新規就農支援、離職者等への農業に関する再就職訓練など長期間の就農支援研修を3つ開講しています。令和6年度は3研修で計57名が受講しています。また、福祉事業所職員が施設の栽培ほ場を運

表1 令和6年度農学科の専攻別学生数 (単位:人)

専攻名	1年生	2年生	計
鉢物・緑花木	6 (0)	7 (2)	13 (2)
切花	8 (2)	5 (1)	13 (3)
作物	6 (1)	9 (2)	15 (3)
果樹	13 (3)	15 (5)	28 (8)
露地野菜	13 (4)	14 (7)	27 (11)
施設野菜	15 (2)	15 (3)	30 (5)
酪農	12 (6)	15 (6)	27 (12)
養豚・養鶏	6 (6)	11 (3)	17 (9)
計	79 (24)	91 (29)	170 (53)

( ) 内は女子の人数で内数

表2 農学科の入学学生数の推移

入学年度	入学者数	女子学生数		農家子弟数	
		人数	割合	人数	割合
H30	95	25	26%	37	39%
H31	97	24	25%	32	33%
R2	104	28	27%	29	28%
R3	83	24	29%	27	33%
R4	76	25	33%	18	24%
R5	91	29	32%	25	27%
R6	79	24	30%	19	24%

表3 農学科卒業生の進路状況

卒業年度		R1	R2	R3	R4	R5
就農	後継者	15	12	10	8	3
	農業法人	18	17	23	24	18
	一時就職後就農	13	10	13	8	6
	就農計	46	39	46	40	27
就職	37	34	44	30	38	
研修	3	4	3	2	2	
進学	1	4	7	0	1	
その他	3	8	1	2	0	
計	90	89	101	74	68	

営するのに必要な基礎知識及び技術を修得するとともに、農業を行う作業者にわかりやすく伝える手法を身につけることを目的とした農福連携支援研修を開講し、13名が受講しています。本校キャンパス内では、農学科の若い学生から社会人経験のある研修生まで、幅広い年齢層の人々が学んでいます。

## 2 農学科の入学状況

本校では、意欲の高い学生を確保するため、オープンキャンパスや緑の学園研修、県内各J A広報誌への学生募集の掲載などを実施しています。そうした取組の結果、本年度は、定数100名に対し93名の志願者があり、試験の結果、79名が入学しました。うち、専業及び兼業農家子弟の学生は19名で入学者全体の24%、非農家出身者は76

%となっています。また、女子学生は24名(30%)で、県内農業高校出身者は52名(66%)でした。(表2参照)

## 3 農学科卒業生の進路状況

本校では、1年生のうちから進路セミナー等を実施して、進路の方向付けや就職活動の支援を行っています。令和5年度農学科卒業生の進路状況は表3のとおりです。68名の卒業生のうち、親元や農業法人など就職した者は、予定者を含めると27名で全体の40%にあたります。また、就職した卒業生の多くは、農業関連企業や団体に就職しました。本校では職業安定法に基づく「無料職業紹介事業」を実施して、多くの農業法人等から求人をしていただき、学生の就農等を支援しています。同窓生の皆様か

らの求人をお持ちしております。

## 農学科各グループの近況

### 〔花きグループ〕

ガラス温室や遮光ハウスなど約1600㎡の施設と300㎡の露地ほ場を利用して、鉢花、観葉植物、洋ラン、緑花木、花壇苗等200種類以上の品目を栽培しています。在籍者13名(1年生6名、2年生7名)のうち専業農家出身者は2名で、普通科高校卒業生も多くいます。専攻実習では、1年生の9月に「鉢花、観葉植物、洋ラン、緑花木」の4つの部門に分かれ、学生からの「新たな品目や技術にチャレンジしたい」などの意見や発想を積極的に取り入れることで、実習作業内容の充実を図っています。

本年度は「コチョウランのB A処理による品質向上」などをプロジェクトテーマとして取り組んでいます。学生それぞれのアイディアを生かし、品質向上や低コスト化、省力化など農業経営の改善に繋がるよう取り組んでいます。

### 〔切花専攻〕

約1500㎡の温室と200㎡の露地ほ場でキク、バラ、ストック、ヒマワリを主体に、カーネーション、ケイトウ、ペニバナ、ガーベラなど、10種類以上の植物を栽培しています。



在籍者13名(1年生8名、2年生5名)のうち、専業農家の子弟は3名います。1年生は、8月までに全ての品目の基礎的な栽培管理を学び、9月中旬から10月下旬までの農家派遣実習で鍛えられ、より逞しくなっています。派遣実習後に、キク、バラ、洋花の3部門に分かれて、2年生の秋までプロジェクト学習に取り組みます。

実習で毎朝収穫した切花は、週2回(月、金曜日)、市内の花き市場に出荷しています。また、毎週水曜日に実施する実習販売では、切花加工演習で習得した技術を生かして自分たちで作った多品目を組み合わせた花束も販売して、お客さんの反応を楽しみにしながら、意欲的に取り組んでいます。

〔野菜グループ〕  
〔露地野菜専攻〕  
1年生13名、2年生14名、計27名が在籍し、露地野菜と促成イチゴの技能習得に取り組んでいます。1.5haのほ場で、冬はキャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、



〔野菜グループ〕  
〔露地野菜専攻〕  
1年生13名、2年生14名、計27名が在籍し、露地野菜と促成イチゴの技能習得に取り組んでいます。1.5haのほ場で、冬はキャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、





ツコリー、夏はスイートコーン、スイカ、ナスなど、県内の主要40品目の勉強をしています。また、イチゴの高設栽培において、令和2年度から環境測定装置の「あぐりログ」を設置・活用するとともに、暖房機の更新に合わせて、炭酸ガス発生機を導入し、本格的な環境制御技術に挑戦しています。

近年の異常降雨に対応するため、プランソイラーによる深耕を行い、水はけを改善しています。また、作柄安定のため土壌診断に基づく施肥量の適正化と、夏の遊休期間を利用して緑肥を栽培しています。

**〔施設野菜専攻〕**  
1年生15名、2年生15名の計30名が在籍し、約30aの温室で、主にトマト、ナス、キュウリ、メロンを栽培しています。本専攻では、養液土耕栽培の他に産地で普及しているココバッグ栽培や袋培地栽培などにも取り組んでいます。

令和元年度に統合環境制御システム「プロファームコントロール」を導入したICT温室を建設しました。令和3年度作から大玉トマト栽培において10a当たり年間収量40tを目指し

た学生のプロジェクト学習を行っています。

また、令和5年度からICT温室の一部で、給液管理に日射比例制御を取り入れ、さらなる栽培の安定化を図っています。さらにナス栽培では炭酸ガスの局所施用システムを導入し、収量や品質の向上に挑戦しています。

1年生6名、2年生9名の計15名の学生で、1haの大区画水田をはじめ大小9区画、計33haの水田で、大型機械を利用して水稲、小麦、大豆の栽培に取り組んでいます。

1年生は水稲栽培に関する基本知識が身に付けられるよう実習を進め、2年生からプロジェクト学習に取り組む、卒業としてまとめいきます。

そのため、2年生になると各学生には場を割り当て、担当学生が責任を持っては場の作業や栽培管理、生育調査等を行う体制としています。

化学肥料及び化学農薬を使用しない栽培方法や飼料用稲の栽培法の検討などをテーマとして取り組み、高生産性及び付加価値の高い技術に取り組んでいます。



〔作物・果樹グループ〕  
〔作物専攻〕

また、近年は農機メーカーの協力も得て営農支援システムの活用などスマート農業の学習にも力を入れています。

**〔果樹専攻〕**  
1年生13名と2年生15名の計28名の学生で、2.2haの露地ほ場においてブドウ、ナシ、モモ、カキなど県内主要品目を栽培しています。また、イチジク、ミカン、ブドウのハウス栽培も行われており、県内の果樹営農類型の多くを学生は学ぶことができます。

多様な樹種と栽培方式のため、開花期から収穫前の7月までは摘果や袋掛け、ホルモン処理など管理作業に学生たちは多忙な毎日を送っています。

6月に入ると順次収穫が始まりますが、いずれの果実も実習販売では人気商品で、買い求めのお客様の列が絶えません。

学生は、入学当初は数多くの樹種の基本的な技術を学びますが、プロジェクト学習ではテーマを決めてより専門的な知識・技術を習得します。本年度のテーマとして、「赤系ブドウ『ゴルビー』」の着色改善による品質向上、「ナシ『豊水』」の着果位置調整による収穫前進効果の検証」などに取り組んでいます。

また、近年は農機メーカーの協力も得て営農支援システムの活用などスマート農業の学習にも力を入れています。

**〔畜産グループ〕**  
**〔酪農専攻〕**  
乳用牛約40頭(経産牛20頭、育成牛20頭)、肉用牛25頭(繁殖5頭、肥育10頭、育成10頭)の計65頭前後の牛を1年生12名と2年生15名の学生が飼養管理しています。

また、約4.5haの圃場でトウモロコシや牧草など自給飼料生産も行っています。

学生の多くは非農家出身で、本校に入学して初めて牛に触れることもありませんが、1年生も、2年生や専攻の先生の助言を受けながら飼養管理技術を身につけていき、夏休み前にはしっかりと管理できるようになっていきます。

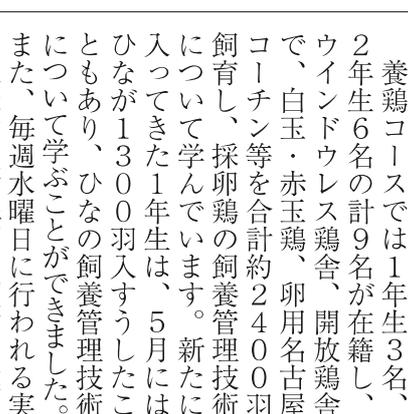
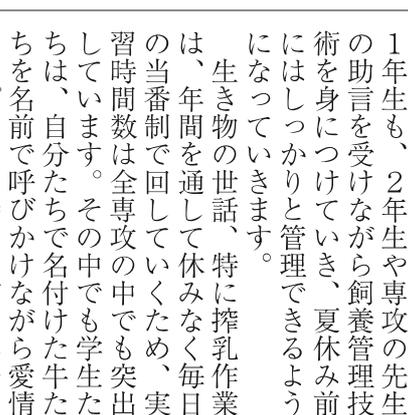
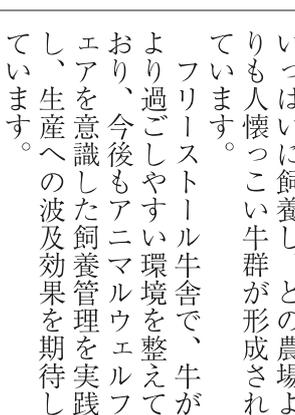
生き物の世話、特に搾乳作業は、年間を通して休みなく毎日の当番制で回していくため、実習時間数は全専攻の中でも突出しています。その中でも学生たちは、自分たちで名付けた牛たちを名前で呼びかけながら愛情いっぱい飼養し、どの農場よりも人懐っこい牛群が形成されています。

フリーストール牛舎で、牛がより過ごしやすい環境を整えており、今後もアニマルウェルフェアを意識した飼養管理を実践し、生産への波及効果を期待しています。

また、近年は農機メーカーの協力も得て営農支援システムの活用などスマート農業の学習にも力を入れています。

**〔養豚・養鶏専攻〕**  
養豚コースでは1年生3名、2年生4名の計7名が在籍し、豚の交配から分娩、育成、肥育、出荷に至るまでの一貫した飼養管理の知識と技術を学んでいます。繁殖は全て人工授精を行い、学生はしっかりと母豚を観察し、慎重に作業を進めています。また、出荷した豚の枝肉を食肉市場で調査したり、豚肉の食味試験を行い、おいしい豚肉づくりに役立てるとともに、畜産加工実習を行い、ハムやソーセージの製造実習も行っています。

養鶏コースでは1年生3名、2年生6名の計9名が在籍し、ウインドウレス鶏舎、開放鶏舎で、白玉・赤玉鶏、卵用名古屋コーチン等を合計約2400羽飼育し、採卵鶏の飼養管理技術について学んでいます。新たに入ってきた1年生は、5月にはひなが1300羽入すうしたこともあり、ひなの飼養管理技術について学ぶことができました。また、毎週水曜日に行われる実習販売で、学生がお客様に直接、鶏卵を販売することにより、接客や直販での売り方を学んでいます。



また、近年は農機メーカーの協力も得て営農支援システムの活用などスマート農業の学習にも力を入れています。

**〔畜産グループ〕**  
**〔酪農専攻〕**  
乳用牛約40頭(経産牛20頭、育成牛20頭)、肉用牛25頭(繁殖5頭、肥育10頭、育成10頭)の計65頭前後の牛を1年生12名と2年生15名の学生が飼養管理しています。

また、約4.5haの圃場でトウモロコシや牧草など自給飼料生産も行っています。

学生の多くは非農家出身で、本校に入学して初めて牛に触れることもありませんが、1年生も、2年生や専攻の先生の助言を受けながら飼養管理技術を身につけていき、夏休み前にはしっかりと管理できるようになっていきます。

生き物の世話、特に搾乳作業は、年間を通して休みなく毎日の当番制で回していくため、実習時間数は全専攻の中でも突出しています。その中でも学生たちは、自分たちで名付けた牛たちを名前で呼びかけながら愛情いっぱい飼養し、どの農場よりも人懐っこい牛群が形成されています。

フリーストール牛舎で、牛がより過ごしやすい環境を整えており、今後もアニマルウェルフェアを意識した飼養管理を実践し、生産への波及効果を期待しています。

## 農大祭

### 農大祭2023を開催

令和5年12月2日(土)午前9時から午後1時まで「農を感じる!大ナミックに!!!」祭高の一日を!!!「農大!祭!」をテーマに「農大祭2023」を開催しました。当日は晴天に恵まれ、来場者は前回の2,000名を大きく超え、約2,500名の方々に来場いただきました。

学生が丹精込めて育てた農畜産物の直売ブースは毎年大変好評です。体育館では切花専攻、鉢物・緑花木専攻の多種多様な花々で埋め尽くされました。テントブースでも、露地野菜



会場風景

専攻、施設野菜専攻の野菜を始め、養豚・養鶏専攻の鶏卵、作物専攻の米等を買求める姿が見られ、両手に抱えきれないほどの多くの農産物を持った来場者であふれていました。また、果樹専攻では、テレビでも紹介され「世界マーメイドアワード」で入賞を果たした夕焼けマーメイドも販売されました。

食品バザーでは、農大で穫れた農作物を使用した、五平餅や豚汁、プリンなどたくさんのおいしいメニューが並び、来場者のお腹を満たしていました。

例年好評をいただいている茶道部による農大茶席では、たくさんの方が本格的な茶道を体験していただきました。

また、2回実施した農大キャンパスツアーには76名の参加者があり、普段は見えていただけな



来場者で賑う会場



食品バザー

い圃場や牛舎、トラクター等を見学して農業や農大への理解を深めていただきました。

昨年から始めた専攻展示室では、各専攻案内や学生の研究発表の成果をパネル展示するとともに写真部の活動成果の展示も行いました。また、農大と連携協定を結んでいる岡崎市からは岡崎ぬかたの産品の販売を行いました。



後夜祭

とともに、みあい特別支援学校からは生徒さんの作品を展示しました。

さらに、農大祭終了後に学生会主催の後夜祭が実施されました。軽音楽部の演奏を皮切りに、キャンプファイヤーが実施され、たき火を囲んで花火や障害物競争などの演目を参加者全員が全力で楽しんでいました。

今回も全ての来場者の笑顔があふれる農大祭となりました。また、すべてやり終えた学生たちの充実した表情がとても印象的でした。

### 農大祭2024について

今年も12月7日(土)に「90周年だよ!農大祭!!全員集合!!!」をテーマに農大祭を開催します。

農産物の販売等の取組を通して、愛知県の農業の魅力と大切さを伝えていくとともに、県民の皆様にも農業大学を身近に感じていただけるように学生が中心となって準備を進めています。

同窓生の皆様も、ぜひお越しいただきますようお願いいたします。

農大祭の開催準備状況は農業大学校SNSで御案内していきます。

### 農大祭2024への協力について

農大祭実行委員会では、同窓会会員の皆様から協力を募っております。

ぜひとも皆様の御協力をお願いします。

●協力の金額  
一口 1,000円  
(一口以上でお願いします)

●振込先  
金融機関 あいち三河農業協同組合 美合支店

口座名義人 農大祭実行委員会  
会長 恒川 靖弘

口座番号 普通 0036083

●払込期限  
令和6年11月14日(木)

※振込で御協力をいただく場合は、各金融機関の振込用紙を御利用いただきとともに、御氏名の前に「同窓会 ドウソウカイ」と御記入ください。

なお、振込手数料についても御負担くださるようお願いいたします。

オープンキャンパス2024を開催

令和6年6月8日(土)、22日(土)、7月30日(火)、8月6日(火)、8月27日(火)に「オープンキャンパス2024」を開催し、農業大学校への入学に関心のある多くの高校生・保護者の方が参加されました。

参加者は、大講義室で農大の特色、入試に関する情報、就職先などの説明を受けた後、キャンパスツアーで広大な敷地にある実習ほ場、施設や学生寮を見学しました。その際、学生もスタッフとして同行し、積極的にコミュニケーションを取っていました。

農大産のミニトマトやブドウを試食した後に在校生との交流を行い、参加者から出された実習の内容、寮生活、クラブ活動、アルバイト等の質問に対し、自らの経験を踏まえて説明していました。

また、希望者を対象に、食堂にて学生に交じって昼食を食べていただき、普段の農大生の生活の一部を体験してもらったことができました。

参加者からは、「農大をより深く詳しく知ることができた。」「在校生と話すことができ、生

の声聞いて良かった。」などの感想が寄せられました。より多くの方に農大に入学してもらえよう、今後もオープンキャンパスを始め様々な機会を通して農大の魅力を発信していきます。



在校生が説明中



学生寮も見学

東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会 滋賀大会

今年度の東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会は、5月30日(木)・31日(金)に滋賀県近江八幡市で開催されました。競技種目は軟式野球、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、テニスの6種目で、本校はテニスを除く5種目に参加しました。

競技では互いに相手を尊重し、フェアプレイ精神で臨むなど礼儀正しい試合を行うことができました。観戦・応援では相手チームとの交流を深めつつ、ファインプレーがあれば、自他ともに称賛するなど節度ある姿勢で取り組んでいました。

成績は、団体の部では軟式野球、バレーボール、バドミントン

が優勝し、卓球が準優勝でした。個人の部ではバドミントンで女子ダブルスが優勝、男子シングルが準優勝、卓球で女子シングルが準優勝、女子ダブルスが第3位でした。他の種目においても入賞などの好成績を収めることができました。

また、競技とは別に交流会の場を用意していただき、レクリエーションを通して学生が交流を深め、農業を志す学生が一同に会して各校の学習環境や寮生活などの情報を交換し合うなど、交流の輪が広がっていました。

この学生スポーツ大会を通して学生は県を越えたネットワークを構築するなど、将来の農業経営に活かすことができるもの



全体集合

と思います。

次年度は岐阜県で開催されます。この大会での新たな出会いと経験を活かして、愛知農大生として、さらに成長していくことを期待しています。



バレーボール



卓球

## 企画研修部の各種研修の紹介

企画研修部では、新規就農希望者向けの研修や、農業者が社会情勢の変化と進歩する農業技術に対応するための研修、一般県民が愛知県の農業を理解するための研修を実施しています。令和6年度に実施する研修の定員総数は約2300名にのぼります。一部研修ではニーズに応えるため、定員を増やして実施します。

### 【1 農業者生涯教育研修】

農業を担うべき者を対象に、農業者の発展段階に合わせた研修を行っています。

○担い手の確保を目的とした長期研修

農業所得250万円以上を目標とするUターン就農者や農外



農業技術研修・校外学習

からの新規参入者を対象とした「ニューファーマーズ研修」、非農家等これまで農業以外の仕事に就いてこられた方が新しく農業を始めるための「農業者育成支援研修」、離職者の公共職業訓練に位置づけられ岡崎高等フ टेィネット対策訓練農業技術研修科」として実施している「農業技術研修」があります。

○農業者を対象とした経営発展段階に応じた研修

農業者が必要とする知識や新技術等をタイムリーに習得する「経営管理研修」、「生産高度化研修」、「農産物活用研修」を実施しています。生産高度化研修では、5部門。10講座開催を



生産高度化研修

予定しています。

また、経営を発展させたい農業者が営農しながら体系的に経営を学べる場として「あいち農業経営塾」や、GAP普及に向けた「GAP研修」、女性農業者の活躍を促進するための「女性農業者支援研修」を開講し、本県農業を牽引する優れた経営感覚を備えた農業者の育成を図っています。

### 【2 農業機械研修】

農業機械研修では、農耕車限定の大型特殊自動車・けん引免許が取得できる「大特免許研修」、「けん引免許研修」のほか、労働安全衛生法に基づく講習又は教育修了証が受領できる「フォークリフト研修」、「小型車両系建設機械研修」、「刈払機研修」等を実施しています。

農業機械に関する研修は、免



農業機械研修・技能試験

許や資格取得に直結するためどの研修も人気が高く、受付開始早々に定員を超えるため、毎回抽選により受講者を決定しています。

### 【3 農業理解研修】

県民が、愛知県の農業や食料に関する正しい知識を得て、農業・農村への理解と関心を深めるための研修です。

「県民公開講座」は、広く一般の方を対象に、家庭で栽培するカキやウメ等の身近な果樹の剪定方法を学んでもらう研修を実施しています。

「農業体験学習」は、園児や小学生等が農業に親しみ、理解

を深めてもらうため農大の生産施設見学会を実施しています。また、農福連携を推進するため、福祉事業所職員を対象とした農産物の栽培技術習得を目的に「農福連携支援研修」を令和2年度から実施しています。



農業理解研修・県民公開講座

令和6年度に企画研修部が実施する各種研修一覧

	研修名	回数	定員
農業者生涯教育	ニューファーマーズ	—	20
	農業者育成支援	—	15
	農業技術	—	30
	経営管理	3	140
	生産高度化	10	920
	農産物活用	1	20
	GAP	2	40
	女性農業者支援	4	300
あいち農業経営塾	—	20	
農業機械	大特免許	9	165
	けん引免許	2	24
	トラクター作業	2	24
	フォークリフト	2	56
	小型車両系建設機械	2	52
	刈払機	1	24
農業理解	県民公開講座	1	50
	農業体験学習	—	400
	農福連携支援	—	15
	合計	—	2,315

オーストラリアへの海外派遣研修を実施しました。

ベトナム経由!

令和6年1月18日(木)、直前のコロナ感染等で欠席となった学生4名を除く、66名が中部国際空港に集合、午前9時に中部国際空港を出発し、約6時間のフライトを経て、ベトナムホーチミンタイソンニャット国際空港に13時に到着しました。

ベトナムでは、2台のバスに乗り、ホーチミンで最も美しい建物の一つで、ベトナム戦争終結の舞台となった統一会堂、ホーチミン最大のマーケットであるペンタイン市場、美しいコロニアル建築が残り、世界で最も美しいとも言われる中央郵便局を巡り、ホーチミン市内のレ



ストランで夕食を取った後、シドニーに出発しました。ベトナム料理の味付けに苦戦する学生もいましたが、ベトナムの歴史や食文化について学び、元気にシドニーに向けて出発しました。

ホストファミリーと対面



1月19日(金) 9時50分シドニー国際空港に到着。ボーラル競馬場事務所にて、ホストファミリーと対面しました。ホストファミリーは、とてもフレンドリーで明るい方々ばかりで、学生も大きな声で挨拶するなど、一生懸命にコミュニケーションを取りながら、各ファミリー先に出発していきました。

大満足のファミリーステイ!

ファミリーステイは、18のステイ



先に分かれ、農場の見学の後、動物への餌やりや農作物の収穫、農場の修繕などの作業を行い、ホストファミリーは、農畜産物に対する学生の手際の良さや、汗をかくことや汚れることを厭わない農大生の姿に関心していました。

学生達は、英語でのコミュニケーションに苦心しながらも、各ホストファミリーの優しさにも助けられ、すぐに打ち解けて、一緒にボードゲームをしたり、観光やショッピングに出かけたりと、非常に楽しんでいる様子が見られました。

シドニー観光



1月22日(月) ファームステイを終えた学生達は、お世話になったホストファミリーと別れ、シドニーへ移動、シドニー市内のホテルで宿泊して、翌日

は、それぞれのグループに分かれて、シーライフ水族館、ボンダイ・ビーチ、タロンガ動物園など、思い思いにシドニー観光を楽しみました。

研修を終えて

研修先でコロナ感染により体調を崩した学生がいたものの、研修前、海外派遣研修に「行きたいと思っていた」学生が64%だったのに対して、研修後、「行って良かったと思う」と答えた学生が95%になるなど、非常に有意義な研修となりました。

今回、初めてのベトナム経由となりましたが、学生達は、自分達で準備、計画をして、何より、慣れない環境の中で、研修を大いに楽しんでいました。学生達の一生の思い出に残る研修になったことと思います。



## 令和5年度卒業式

教育部農学科の令和5年度卒業式が3月8日(金)に挙行され、教育部農学科68名が本校を巣立って行きました。

当日は旅立ちの日を祝うかのような好天に恵まれ、卒業生は厳粛な雰囲気の中で、2年間にわたる農大での学業生活の様々な思い出を胸に卒業式に臨みました。式典では、卒業生全員が順に



卒業式の様子



呼名され、卒業生総代の鶴田昇也さんに、石橋校長から卒業証書が授与されました。その後、成績優秀者や実習等に精励した者に対して、愛知県知事賞や大

学校長賞等の表彰が行われたあと、校長式辞に続き柴田同窓会長から御祝辞をいただきました。最後に在校生による送辞と、卒業生代表、露地野菜専攻二村早姫さんが答辞を述べ、閉式となりました。

卒業式終了後は、コロナ禍のため5年ぶりとなる卒業パーティーが開催され、豪華な食事や、演奏会、ゲームなどを楽しみながら、農大での思い出を語り合っていました。

卒業生には、農大で学んだことを活かし、新たな道を歩んで行つて欲しいと思います。

## 表彰状受賞者

### 優秀賞

#### 〔愛知県知事賞〕

鶴田 昇也 教育部農学科  
露地野菜専攻

#### 〔大学校長賞〕

浅井 李咲 教育部農学科

河合 啓汰 露地野菜専攻

果樹専攻

平松 拓海 教育部農学科

作物専攻

### 奨励賞

#### 〔大学校長賞〕

坂元 楓華 教育部農学科

森川 徹哉 鉢物・緑花木専攻

大倉野悦美 教育部農学科

長尾 成海 作物専攻

杉山 聖弥 教育部農学科

山田 鳳斗 露地野菜専攻

吉田 綾音 教育部農学科

鈴木 響 酪農専攻

養豚・養鶏専攻

夕焼けマーメイド#8

果樹専攻

教育部農学科

露地野菜専攻

尾崎 嵩仁 教育部農学科

作物専攻

農業大学校同總會全国連盟会長賞

尾崎 嵩仁 教育部農学科

作物専攻

農業大学校の職員

令和六年六月一日現在 ○印は異動の職員

校長 恒川 靖弘

○副校長 佐原 茂樹

○管理課長 内藤るみ子

○課長 田島 直子

○主任 柴田サワ子

○主任 井出 裕介

○主任 福井 七海

○主任 今西 亜紀

○主任 近藤 美江

○主任 酒井 誠司

○主任 浅野 将宏

○主任 柳田 美紀

○主任 宮本 憲

○主任 大見有紀子

○主任 磯貝 勝

○主任 坂口 卓司

○主任 辻 邦夫

○主任 山下 篤

○主任 田口 延行

○主任 宇野 滋晃

○主任 酒井 誠司

○主任 米倉 悟

○主任 野田 輝夫

○主任 犬伏 加恵

○主任 大橋 博子

○主任 原 知明

○主任 坂下 健

○主任 落合 幾美

○主任 佐野 達也

○主任 黒野 大稀

○主任 佐原 茂樹

○主任 吉村 颯季

○主任 鶴田 瑞穂

○主任 志知 昭宏

○主任 嶋本 千晶

○主任 中嶋 中譲

○主任 則竹 伸哉

○主任 小島 優作

○主任 金沢 輝芳

○主任 齋藤 勉

○主任 豊高 浩一

○主任 中村 星太

○主任 鳥居 雅樹

○主任 春日井大輝

○主任 神取 道信

○主任 井戸 咲良

○主任 佐原 茂樹

○主任 鬼頭 郁代

○主任 安藤 実香

○主任 加藤 夕子

○主任 中坊 昌也

○主任 落合 敏弘

○主任 柴田 博之

○主任 本庄 弘樹

○主任 水野 英之

○主任 二村 幹雄

○主任 梶田 靖

○主任 福井 敏幸

○主任 大谷 雅子

○主任 中村 彰

○主任 大澤 史季

令和5年度 会計決算報告

1 令和5年度 一般会計収支決算

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備 考
2,756,384	1,798,166	958,218	自令和 5. 1. 1 至令和 5.12.31

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

費 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
会 費	1,500,000	1,480,000	△ 20,000	農学科74名 (@20,000円)
雑 収 入	17	15	△ 2	預金利息 5.2.19 6円 5.8.20 9円
繰 越 金	1,276,369	1,276,369	0	前年度より繰越
計	2,776,386	2,756,384	△ 20,002	

支出の部

(単位 円)

費 目	予 算 額	決 算 額	差引残額	備 考
全国連盟会費	57,050	54,770	2,280	会員割 20,000円 学生1名 500円×68名 振込手数料 770円
支部活動費	10,000	0	10,000	
技術部会活動費	21,100	0	21,100	
旅 費	90,000	43,700	46,300	・全国連盟同窓会会長会議・総会 ・東海近畿ブロック校長・同窓 会会長会議
事務用品費	40,000	1,820	38,180	事務用切手代
会報発行費	827,000	860,200	△ 33,200	同窓会報第39号印刷・発送
会 議 費	120,000	106,246	13,754	役員会1回 5,113 理事会1回 52.3 開催費等 (旅費、昼食代、謝礼等)
賃 金	11,000	0	11,000	
記念品費	165,000	164,500	500	卒業生記念品 (名刺入れ、図書カード)
表 彰 費	70,000	0	70,000	
個人情報 業務委託費	132,770	154,770	△ 22,000	会員データ年間管理料 154,000円 振込手数料 770円
交 際 費	10,000	0	10,000	慶弔電報代
繰 出 金	400,000	400,000	0	名簿作成基金 200,000円 創立記念基金 200,000円
予 備 費	822,466	12,160	810,306	オープンキャンパス試食品費
計	2,776,386	1,798,166	978,220	

2 令和5年度 名簿作成基金会計収支決算

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備 考
2,062,181	0	2,062,181	自令和 5. 1. 1 至令和 5.12.31

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

費 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
繰 入 金	200,000	200,000	0	一般会計から
預金利息	10	16	6	5.2.19 8円 5.8.20 8円
名簿収入	3,000	3,000	0	5.10.2 1冊
繰 越 金	1,859,165	1,859,165	0	前年度より繰越
計	2,062,175	2,062,181	6	

支出の部

(単位 円)

費 目	予 算 額	決 算 額	差引残額	備 考
予 備 費	2,062,175	0	2,062,175	
計	2,062,175	0	2,062,175	

3 令和5年度 創立記念基金会計収支決算

(1) 普通預金

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備 考
3,279,877	0	3,279,877	自令和 5. 1. 1 至令和 5.12.31

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

費 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
繰 入 金	200,000	200,000	0	一般会計から
預金利息	20	26	6	5.2.19 13円 5.8.20 13円
繰 越 金	3,079,851	3,079,851	0	前年度より繰越
計	3,279,871	3,279,877	6	

支出の部

(単位 円)

費 目	予 算 額	決 算 額	差引残額	備 考
予 備 費	3,279,871	0	3,279,871	
計	3,279,871	0	3,279,871	

(2) 定期預金

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備 考
500,720	0	500,720	自令和 5. 1. 1 至令和 5.12.31

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

費 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
預金利息	50	9	△ 41	5.2.5 9円
繰 越 金	500,711	500,711	0	前年度より繰越
計	500,761	500,720	△ 41	

支出の部

(単位 円)

費 目	予 算 額	決 算 額	差引残額	備 考
予 備 費	500,761	0	500,761	
計	500,761	0	500,761	

## 令和6年度 会計予算

### 1 令和6年度 一般会計収支予算

#### 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
会 費	1,360,000	1,500,000	△ 140,000	農学科 68名
雑 収 入	15	17	△ 2	預金利息(2月・8月)
繰 越 金	958,218	1,276,369	△ 318,151	前年度より繰越
計	2,318,233	2,776,386	△ 458,153	

#### 支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
全国連盟会費	65,770	57,050	8,720	会員割 20,000円 学生1名 500円×90名 振込手数料 770円
支部活動費	10,000	10,000	0	5,000円×2支部
技術部会活動費	21,100	21,100	0	10,000円×2支部 振込手数料 550円×2
旅 費	90,000	90,000	0	東海近畿ブロック 会議、全国連盟総 会の出席旅費
事務用品費	40,000	40,000	0	文具等
会報発行費	861,000	827,000	34,000	同窓会報発行・ 発送
会 議 費	120,000	120,000	0	役員会、理事会 開催費
賃 金	11,000	11,000	0	
記念品費	203,000	165,000	38,000	卒業生記念品代 68名
表 彰 費	70,000	70,000	0	同窓会員の表彰 記念品代
個人情報 業務委託費	155,000	132,770	22,230	会員データ年間管理料 154,000円 振込手数料 770円
交 際 費	10,000	10,000	0	
繰 出 金	200,000	400,000	△ 200,000	創立記念基金 200,000円
予 備 費	461,363	822,466	△ 361,103	
計	2,318,233	2,776,386	△ 458,153	

### 2 令和6年度 名簿作成基金会計収支予算

#### 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
繰 入 金	0	200,000	△ 200,000	
預金利息	0	10	△ 10	
名簿収入	0	3,000	△ 3,000	
繰 越 金	2,062,181	1,859,165	203,016	前年度より繰越
計	2,062,181	2,062,175	6	

#### 支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
繰 出 金	2,062,181	0	2,062,181	創立記念基金会 計へ繰出
予 備 費	0	2,062,175	△ 2,062,175	
計	2,062,181	2,062,175	6	

### 3 令和6年度 創立記念基金会計収支予算

#### (1) 普通預金

##### 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
繰 入 金	2,262,181	200,000	2,062,181	一般会計、名簿作成 基金会計から繰入
預金利息	20	20	0	
繰 越 金	3,279,877	3,079,851	200,026	前年度より繰越
計	5,542,078	3,279,871	2,262,207	

##### 支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
記念事業費	2,500,000	0	2,500,000	
予 備 費	3,042,078	3,279,871	△ 237,793	
計	5,542,078	3,279,871	2,262,207	

#### (2) 定期預金

##### 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
預金利息	50	50	0	
繰 越 金	500,720	500,711	9	前年度より繰越
計	500,770	500,761	9	

##### 支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
予 備 費	500,770	500,761	9	
計	500,770	500,761	9	

## 事務局から

毎年「同窓会報」を発行するに当たり、住所不明等で多数の会員に会報が届いていません。会員の皆様で、住所や姓が変わるなど状況に変化があった場合、その状況を事務局までお知らせください。

また、同窓会報の内容は農大ホームページの中の同窓会のページで御覧いただくこともできます。

会員様の中で「ホームページを見るから、経費節減のために同窓会報の送付を止めていただいて結構」と言われる方がおみえになりましたら、送付不要を希望される場合のみ、官製はがきとその旨を書き、住所氏名を記入し、令和6年10月31日までに農大事務局に御送付ください。その方のみ次号から送付を止めさせていただきます。

愛知県立農業大学校 同窓会事務局

同窓会長 柴田 隆 夫

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1の2

電話 (0564) 51-1602 F A X (0564) 51-4831

## 会員データについて

愛知県立農業大学校同窓会は株式会社広済堂ネクスト(以下弊社)が責任をもって管理いたします。その際、お預かりする個人情報は個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を厳守して、左記目的の範囲でのみ利用いたします。

### 株式会社広済堂ネクストの個人情報取扱について

- いただいた個人情報、以下の目的で使用いたします。  
・ 学校ならびに同窓会からの通信文書および名簿の発送  
・ 同窓会が本来目的により活動する場、必要と思われる作業を進行する際など合法的な目的のために活用する場合
- 御提供いただいた個人情報は、本人の承諾なしに学校・同窓会関係者以外の第三者に開示することはありません。
- 個人情報は原則として本人にかきり、開示、訂正、削除を求めることができます。

については、株式会社広済堂ネクスト(以下弊社)が責任をもって管理いたします。  
● 弊社は、当社が信頼に足ると判断した外部の企業に、個人情報のデータ処理ならびに発送作業を委託することがあります。

- 御提供いただいた内容は、本人の承諾なしに学校・同窓会関係者以外の第三者に開示することはできません。
- 個人情報は原則として本人にかきり、開示、訂正、削除を求めることができます。